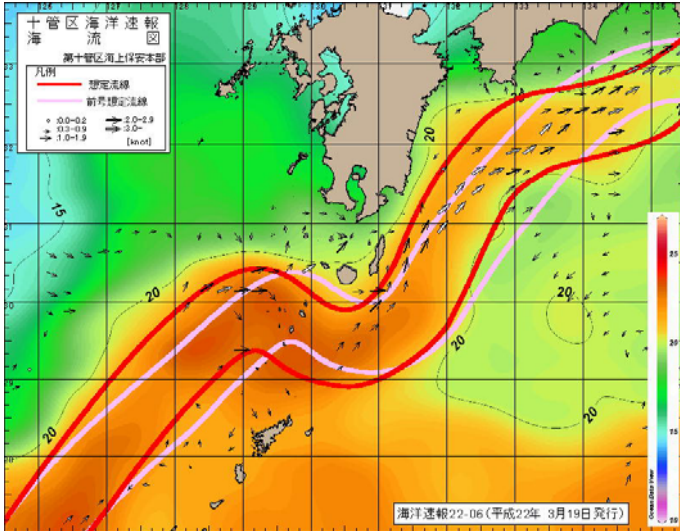




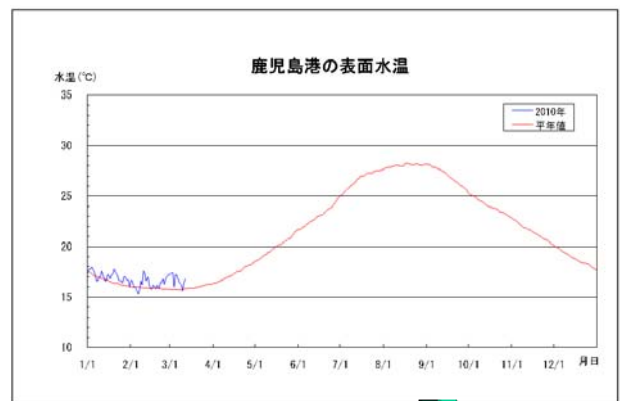
黒潮の概況 及び 表面水温分布



* 詳細は、十管区海洋速報（22-6号/観測期間：平成22年3月5日～3月17日）を参照下さい。

沿岸域 及び 鹿児島港の表面水温

鹿児島湾	15～17℃台
甑島列島～薩南海域	16～17℃台
大隅海峡～種子島・屋久島	17～19℃台
日向灘沿岸域	19～20℃台



干潮時の潮位に注意

		三角	鹿児島	油津	細島	名瀬
2010年	4月	期間(日)	1	～1 28～	1 29～30	～2 16～17 28～
		潮位(最低)	-3cm (1日16時28分)	-9cm (1日14時43分) (29日13時43分)	-5cm (29日12時34分)	-10cm (29日12時37分)

* 上記の表は、4月の干潮時に海図記載の水深より浅くなる期間と潮位が最も下がる日時を示す。

夜空に輝く人工衛星を探してみよう

海上保安庁では、海の地図（海図）を刊行しており、海図はどこの国の船でも使えるように、世界共通の測地系で作られています。海図を作成するために必要な経緯度の基準位置を決定するため、海上保安庁下里水路観測所では、人工衛星のレーザー測距観測を日夜行っています。人工衛星には肉眼で視認できるものもありますが、人工衛星は自分で光を発しているわけではなく、太陽の光を反射して輝いて見えているため、地球の影に入る時間帯は見えません。このため、主に日の入り後や日の出前に空の条件が良ければ日に数個の人工衛星を観望することができます。人工衛星の見え方は、大きさ等によってまちまちですが、星のように輝き、流れ星よりもゆっくり長時間移動して見えます。皆さんも釣りなどの合間に空を眺めて人工衛星を探索してみたいはいかがでしょうか。海に関する質問は、第十管区海上保安本部「海の相談室」へお問い合わせ下さい。

→ URL <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN10/>

